

# 竹林と東方の台地のパンoramaを楽しむコース



**1 真照寺**  
 真宗大谷派、本尊は阿弥陀如来。永禄6年(1563)に創立。境内には横浜市から名木古木に指定されたハクモクレンなど、豊かな自然に恵まれた寺院。折本をこよなく愛した詩人佐藤惣之助の詩碑と教育者石川作蒼の墓碑などがある。39ページ参照。



**2 谷戸坂**  
 東方町の表から裏に通じる道で、急な上り坂にさしかかると、あたり一面が竹林に覆われて薄暗い。日中でもとても静かで、鳥の鳴き声、竹をゆらす風の音が聞こえ、一瞬神秘的な気分になる。



**3 鬼塚台**  
 海拔高度が49.8mある畑地で野菜が栽培されている。この付近で一番高く見晴らしがよい。晴れていれば富士山、丹沢山地や新横浜と横浜のみなどみらいなどを望むことができる。台地上に三角点がある。



**4 八幡森**  
 東方町の龍雲寺の南側にあって、旧家の大きな石積みの擁壁と見事な竹垣が続く小道がある。またよく手入れの行き届いた生垣、竹林、植栽があり京都の郊外を感じさせる。



**5 東方池**  
 昔、東方では灌漑用水に困ったので、龍雲寺の土地に溜池を造り、これが東方池となった。現在は大雨時に水を溜める雨水調整池になっている。(下記コラム参照)



**6 坊方の用水路の切通し**  
 現在の見花山周辺を源流とする水を、鶴見川沿岸の水田の灌漑用水として、流すためにつくられた切通しで、ここを小川が流れ浄念寺川と呼んでいる。かつて都田幼稚園付近に大きな水車があった。



**7 浄念寺川せせらぎ緑道**  
 都田幼稚園と池辺保育園から、浄念寺会館前を通って、梅田橋交差点までの約800mの水辺を持つ緑道。特に会館より北側は、竹林が多く小型の水車がまわり自然が豊である。



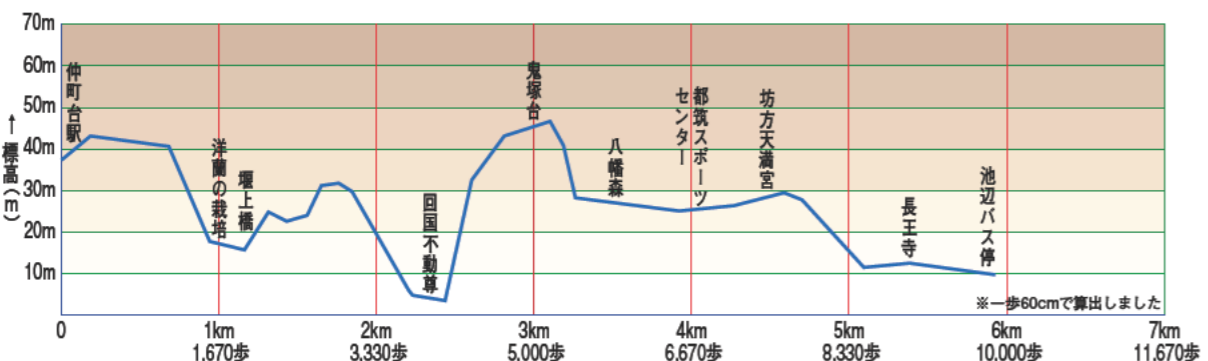
**8 長王寺**  
 高野山真言宗、本尊は薬師瑠璃光如来、開創年は天和元年(1681)。樹齢700年を越える大銀杏は、乳柱が下がり「乳出し銀杏」として親しまれている。



**9 池辺杉山神社**  
 創立年代は不詳。祭神は五十猛命とされている。古来池辺町の鎮守として住民に崇敬されている。9月下旬の例大祭は神輿と花籠が舞い、華やかである。

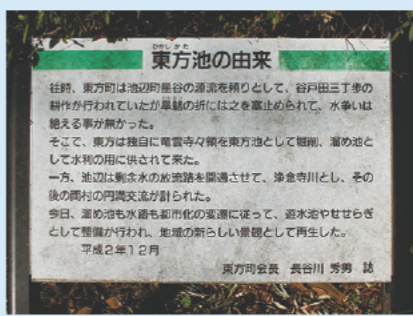


**10 宗忠寺**  
 浄土宗、本尊は阿弥陀如来。開創年は寛文年間(1661~1673)で徳川家康の家来、小笠原宗忠により建立された。俗に殿様寺といわれ池辺富士から葛ヶ谷公園あたりまでが寺領であったといわれている。



## 東方池と浄念寺川

昔、見花山周辺を源流とする川は、池辺町星谷の辺りを通って真照寺方面に流れており、東方はこの川を頼りに耕作を行っていたが、干ばつの際に上流でせき止められてしまい、水争いが絶えなかった。そこで、用水に困った東方は、独自に龍雲寺の土地に東方池を掘り、この池の水を灌漑用水とした。一方、池辺は、余剰水の放流路を開通させて、浄念寺川として水路を造り、2つの村の水争いはなくなった。平成2年には、大雨時に水を溜める雨水調整池として再整備された。



東方池 由来の説明板

